

児童発達支援事業所における自己評価結果表

公表:令和6年 4月 23日

事業所名:リトルジェム

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			・午前と午後で定員を5名ずつに分け、活動のスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			・児童5名に対して職員4~6名を配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	2		・活動に集中出来るよう、おもちゃや本棚をカーテンで隠している。机上活動時、他の児童が気になり集中できないときには机を移動させたり、パーティションで仕切ったりしている。部屋の中は段差を無くしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			・朝礼前、昼食後、軽食後など一日のうち複数回清掃し、清潔な状態を保てるよう心がけている。 ・利用者が一人で心を落ち着けたい時などに、カムダウンルームも活用している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			・朝礼の際に、職員全員で児童への対応や最近の様子、業務内容などを振り返り、改善に繋げている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			・毎年、評価を実施し、いただいたご意見を踏まえ、業務改善につなげている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			・毎年ホームページで公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	5	第三者による外部評価は行なっていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		・午後の送迎後の時間やオンライン研修を利用して研修の機会を増やしたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			・定期的に職員間で話してアセスメントを行い、園や保護者の方からも情報交換を行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	4	・令和6年3月よりTASPという発達評価シートを活用して、アセスメントを行っている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	2		・地域支援については具体的には行なっていない
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			・支援計画の原案立案を含めて職員間で共有して話し合い、支援に生かしている。

	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			・基本的にはあらかじめ立案された活動を行っているが、その日の子ども達の様子や要望などに応じて、臨機応変に対応している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			・運動は季節や行事、利用者の状態などに応じてふさわしいものにするなどしている。 ・机上活動は月ごとに毎日違うものを計画して準備している。
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成しているか	7			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・朝礼で打ち合わせなどを行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3		・翌日の朝礼時に前日の振り返りと改善点を話し合っているが、必要な場合は当日にも行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・ケア記録をとり、検証、改善に役立てている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			・モニタリングの内容を職員間で共有し、検証に生かしている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	/	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	/	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			・就園される場合は、就園先と話し合いや情報交換を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			・幼稚園・保育園と連携して就学支援シートを作成し、相互理解に繋げている。 ・保護者の方の希望があれば、入学前に保護者とともに小学校へ出向き、見学や相談、情報提供を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			・定期的に助言を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	4	・コロナ前は行っていたが、コロナ禍以降は難しい。 ・地域の施設や公園を利用し、地域のお子さんや保護者の方と関わる機会がある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		1	・定期的に参加している。

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			・HUGや電話、送迎時などに情報共有を行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	1	4	・保護者が知りたい事柄や有益な事柄に関して資料を作り、配付している。 ・保護者の困りごとなどを聞き、アドバイスを行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・重要事項説明書の中に記載されているので、契約の際に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2	1	・定期的に保護者会や親子レクリエーションを行っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		・できる限り対応をしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		・定期的ではないが、必要に応じて発信している。 ・HUGの活動記録、紙面でのお便り、SNSで発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	4	・招待はしていないが、療育終了後には体操教室として、地域の子ども達を受け入れている。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	3		・3月は就学前の準備として、不審者に対する訓練を行った。 ・来年度は今年度より回数を増やす。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7			
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		・ファイリングし、いつでも閲覧可能な場所に保管してある。事例が起こる度に職員と共有している。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・定期的に虐待について話し合いをするとともに、研修を実施し、事業所内での情報共有を行った。

	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		・契約時や初回支援計画書作成時、その後も必要に応じて説明を行い、保護者の了解を得て支援計画に記載している。
--	---	---	--	---